

更新日時	2025/03/24 14:07:02
年度	2025
講義コード	11436220
講義名称	感染症看護セミナー
開講責任部署	看護学研究科看護学専攻博士前期課程
講義区分	講義
基準単位数	1.0
講義開講時期	後期
校地	
科目区分	
授業方式	
対象年次	1～
必選区分	

担当教員

氏名	所属
◎ 木下 真里	看護学科

ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP2を修得するために重要な科目
授業の概要	<p>感染症患者は、深刻な人権侵害の被害者になりやすい。また、差別・迫害を恐れて感染を隠避するために、人間関係が破綻したり、意図せず感染を拡大させてしまったり、症状を悪化させてしまったりする場合がある。このため、感染症患者に対する看護ケアは、医療的支援や環境衛生・セルフケアだけでは十分とはいえず、心理、生活、社会的な状況まで幅広くとらえる必要がある。</p> <p>この科目では、三大感染症(HIV/エイズ、結核、マラリア)、新興・再興感染症など主要感染症の診断・治療・予防法および疫学動向についての最新知識を確認した上で、感染症患者の心理・生活、社会環境に注目した看護ケアについて学習する。感染者を取り巻く人間関係・地域社会の現状をもたらす社会的文化的な背景や、公衆衛生的なインパクトについて議論を展開する。さらに、国内外の医療機関、地域、災害現場などにおける看護職の多様な役割を論じる。感染症専門家や当事者の意見を聞く機会を持つ。</p>
達成目標（達成水準）	<ol style="list-style-type: none">主要感染症の診断、治療、予防、疫学動向の最新知識を更新する。感染症が人々の生活や社会に与える影響を具体的に説明することができる。感染症に対する人々や社会（患者自身や医療従事者等を含む）の反応がもたらすインパクトを具体的に説明することができる。感染症に対する看護の役割の多様性・広さを理解する。

授業計画表

回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	主要感染症アップデート（免疫、診断、治療、予防方法、疫学動向など）
第3回	感染症と社会（原因または結果として）
第4回	感染症と個人（心理的な反応と治療、生活、人間関係への影響）
第5回	感染症専門家／当事者の話を聞く
第6回	感染症と災害（原因または結果として）
第7回	学習成果の共有とディスカッション
第8回	まとめ

成績評価（基準と方法）	授業参加・貢献Commitment(25%)、発表・発言Presentation(50%)、課題レポート(25%)
教科書・参考書	資料は適宜配布する
授業外学習課題	1-8 事前課題については、別途、説明する。

オフィスアワー	Appointment by email or walk-in. E-mail: kinoshita@cc.u-kochi.ac.jp
備考	災害看護コンソーシアム科目